

【令和2年年度第1回伊吹山を守る自然再生協議会】

議事録

■日 時 令和2年7月21日（火）10時00分～12時00分

■会 場 伊吹薬草の里文化センター 視聴覚室

■出席者 出席：18人

伊吹山もりびとの会、伊吹山ネイチャーネットワーク、ユウスゲと貴重植物を守り育てる会、日本自動車道、滋賀鉱産、近江鉱業、環境省近畿地方環境事務所自然環境整備課、岐阜県環境企画課、岐阜県揖斐県事務所環境課、揖斐川町観光文化戦略課、米原市環境保全課、米原市林務課、米原市商工観光課、米原市山東伊吹地域協働課、滋賀県琵琶湖環境部、滋賀県自然環境保全課、須藤顧問、高柳顧問

欠席：13人

上野自治会、伊吹山観光振興会、山頂山小屋組合、米原観光協会、文化庁文化財部記念物課、関ヶ原町地域振興課、長浜市都市計画課、米原市歴史文化財保護課、滋賀県教育委員会文化財保護課、滋賀県湖北環境事務所、野間顧問、嵯峨顧問、柴田委員

敬省略

■議事進行 会長：中田（滋賀県琵琶湖環境部次長）

☆凡例 委員・顧問の意見○ 事務局の意見●

■議事要旨

報告事項

（1）令和元年度事業報告および決算報告について

・令和元年度事業報告および決算報告について、事務局より説明が行われた。

（2）今年度事業の報告について

・今年度事業の報告について、事務局より説明が行われた。

（3）各団体保護活動について

・伊吹山もりびとの会、ユウスゲと貴重植物を守り育てる会および伊吹山ネイチャーネットワークより、活動の説明が行われた。

（4）伊吹山ニホンジカ捕獲事業R元年度報告・R2年度計画について

・伊吹山周辺におけるニホンジカの捕獲状況について、事務局（米原市）より説明が行われた。

（5）採掘跡地緑化事業R元年度実績報告・R2年度計画について

・採掘跡地緑化事業R元年度の実績報告およびR2年度計画について、滋賀鉱産（株）より説明が行われた。

その他

- ・特になし

■議事録

報告事項

(1) 令和元年度事業報告および決算報告について

事務局より令和元年度の事業報告および決算報告について説明(資料1-1、1-2)

質疑：特になし

(2) 今年度事業の報告について

事務局より今年度事業の報告について説明(資料2)

質疑：特になし

(3) 各団体保護活動について

①伊吹山もりびとの会による活動報告(資料3-1)

○とても意欲的に活動されており、西洋タンポポの定点観測で成果が出ていると聞き、とても元気が出る。

○コロナの影響でツアー客が皆無に近い状況。昔は多くのバスが伊吹山に来て、花々にととても感動し、何度も来ていただいたが、近年はシカ、イノシシ、温暖化等の影響で様相が一変している。何とか昔の伊吹山を再生すべく、協議会の皆様の力を借りたい。

②ユウスゲと貴重植物を守り育てる会による活動報告(資料3-2)

○カラス対策の効果はどうか。

○東屋に黄色い水糸を張り巡らせたが、地面から来るためあまり効果がない。今は棧のところに水糸を張って様子を見ている。

○もしそれで駄目なら、樹脂の鳩除けをすると有効な場合がある。

③伊吹山ネイチャーネットワークによる活動報告(追加資料)

○今年はイブキガラシ(ヤマガラシ)が去年に比べて極端に少ないがその理由は何か。

○ちょっとわからない。

○ショウジョウスミが西・東登山道脇に増えており、対策ができればと思う。アカソについては今週末に刈り取り作業を行う予定。

シモツケソウがなかなか出てこれない状況になりつつあり、対策を考える必要あり。

○柵については、市の宮崎主幹を中心によくメンテナンスをしていただいているが、伊吹山のシカは柵をよく壊す。三合目は大丈夫だが、山頂の柵だけがアタックを受けており、理由がはっきりしない。イノシシの可能性は低い。少しずつ対策を進め

ており、西登山道で外側に目の細かいネットをきっちりと付けた箇所はアタックされていない。去年できなかった箇所を今年は狙われているので、しっかり修理すればかなり防ぐことができると思われる。

予算が減っており今年は厳しいかもしれないが、中央の金属柵ができれば、西側は隠れる場所がないのでかなり守りやすくなると思う。

東側はまだまだ長い戦いが続きそう。ネットを下ろした冬にボコボコにされている。今年は降ろされたところに一部金網で覆ってみようかと考えている。

イブキガラシの減少については、シカが食べている可能性がある。柵をした途端、シカは不嗜好植物を食べるようになる。柵の内側は人間がしっかり管理しないと嗜好植物が増え過ぎるおそれがある。

嗜好性が変わると言っても、有毒植物(バイケイソウ、アセビ等)はほとんど食べない。

車道沿いの希少植物の保護はまだ行けていないが、今年できればと考えている。

○六合目のトリカブトは結構食べられている。

○毒草を一時的に少しずつ食べることはあるが、消滅するようなことはない。

○伊吹山文化資料館でイヌワシの幼鳥のはく製と骨格標本が並べて展示されている。

また、7月9日から8月6日まで期間限定で映像写真展を行っている。イヌワシの卵もあるし、1994年頃木之本で人に撲殺されミイラ化したイヌワシの頭骨も初展示している。貴重な機会なのでゆっくり観察してほしい26日には撮影者が40年間の保全活動について話をするので、よければ訪ねてほしい。

(4) 伊吹山ニホンジカ捕獲事業R元年度報告・R2年度計画について

○箱わな、囲いわなの比率および一基当たりの捕獲数、雄雌の比率等について、過去に遡って教えてほしい

●確認の上後日回答させていただく。(※ 追加資料により報告)

(5) 採掘跡地緑化事業 R 元年度実績報告・R2年度計画について

○吹付けを行った場所にシカが来て、食べて育たないようなことはないか。

○シカが食べているところは見たことがない。足跡はあるが、植生は順調である。

以上